

フッ素イオン不溶化剤 FLOCSITE FS-2

株式会社エコ・プロジェクト

F-イオンを効率的に不溶化

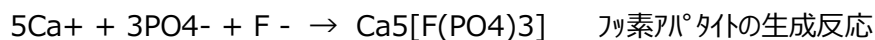
1. F-イオンの存在と指定基準

自然由来の土壌あるいは石膏や各種廃棄物中にはフッ素の含有量が大きな問題となる場合が多い。
土壌汚染対策法による指定基準はフッ素及びその化合物として規制されている。

- (1)土壌溶出量基準: 0.8mg/L 以下(地下水基準も同)
- (2)土壌含有量基準:4,000mg/L 以下

2. [FS-2]不溶化技術

[FS-2]はシリカ・アルミを主体とした無機化合物とリン酸カルシウムを組合わせた不溶化剤である。
溶液中の F-を 0.8mg/L 以下まで効率良く下げる事が出来る。



このフッ素リン酸塩の結晶はシリカ・アルミ表面に効率良く析出する。

従来の処理方法である消石灰によるフッ化カルシウム生成反応では、F-濃度を 10mg/L 程までしか下げる事が出来なかったが、[FS-2]による処理は有効な処理技術である。

F-濃度の高い排水の場合、消石灰処理と FS-2 処理の組合せを推奨する。

F-処理の実験例

製紙工場のパルプスラッジ (PS 灰)

「湿式処理」

PS 灰のスラリー →FS-2 添加→攪拌→ろ過→ろ液

F-濃度	1.72mg/L	0.5%添加	F-濃度	0.35mg/L
		1.0%添加	”	0.28 ”
		1.5%添加	”	0.21 ”

「乾式処理」

PS 灰の粉末 →FS-2 添加・混合→水処理→ろ液

F-濃度	3.0mg/L	2.0%添加	F-濃度	0.42mg/L
		5.0%添加	”	0.14 ”

以上